

君の射撃はエントロピーを 凌駕する



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

めすとらだむす

俺は性欲は人一倍強いのに
彼女がいない童貞……
だから今日も家で
一人オナニーをしていた……

うつ……びゆるびゆるびゆる……

俺も女の子とセックスしたい……

そうしていると
開けていた窓から
奇妙な猫のような生き物が
俺に話しかけてきた。

やあ僕はきゆうべえ、
宇宙の崩壊を阻止しようと
エネルギーを収集しているんだ。
僕と契約して宇宙を
救ってくれないかな？

君が射精した瞬間に
信じられない量の魔力が
放出されているのを観測した。



しかしその魔力は受け取り手が
いないとすぐに消えてしまう：
それは宇宙にとつての多大な
損失だ、だからエネルギーを
失わずに収集するため……

君が効率よく射精してくれる
魅力的な女の子を君に派遣
させるよ。

この提案はオスにとつて
悪くない提案だと思うけど
どうかな？



正直言って驚いた、
その奇妙な猫のような生き物は
言葉を喋れたのだから、

だが言っていることに
デメリットはないように見えた。



うーんいきなりこんなことを
言っても困ってしまうかもしれないね。
ものは試しだ、これから三日間射精を
しないで待っててくれないか？

三日後可愛い女の子を

連れてまた来るからその子に

たっぷり射精して納得できたら

そのあと契約してくれたいよ！

じゃあまた三日後会おうね！



そう言うときゅうべえと
名乗る奇妙な生物は
去っていった。

そして三日後：

俺は律儀にも三日間射精を
我慢して待っていたが、
きゅうべえは現れずにいた、
もうオナニーしてしまいかと
思ったその時。

インターホンが鳴った。
ドアを開けると
きゅうべえは可愛い女の子を
連れてまたやってきた。

あの、こんばんは…

きゆうべえに言われてここに
来たんですけど…あつてますか？

そこには見滝原の制服を着た
女の子がいた。



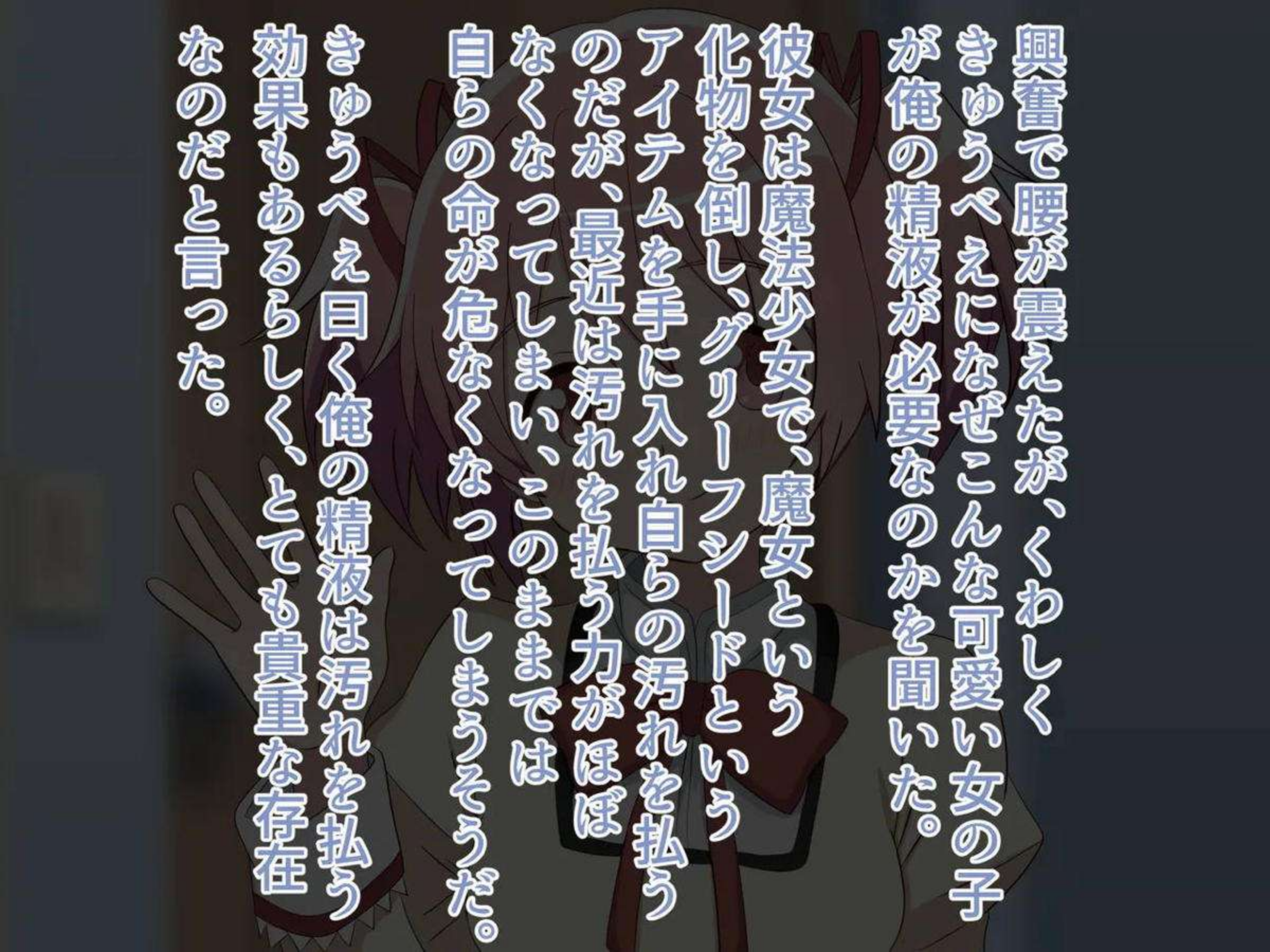
やあ、ちゃんと三日間射精を

我慢してくれてありがとう。

約束通り女の子を連れてきたよ。

遠慮せず好き放題、

彼女の体内に君の精液を放出してくれ。



興奮で腰が震えたが、くわしく
きゆうべえになぜこんな可愛い女の子
が俺の精液が必要なのかを聞いた。

彼女は魔法少女で、魔女という
化物を倒し、グリーンフシードという
アイテムを手に入れ自らの汚れを払う
のだが、最近は汚れを払う力がほぼ
なくなってしまい、このままでは
自らの命が危なくなっってしまうそうだ。

きゆうべえ曰く俺の精液は汚れを払う
効果もあるらしく、とても貴重な存在
なのだと言った。

これで契約は完了でいいね？
それじゃあ僕はことが終わるまで
外で待ってるね。

そして俺は女の子と二人きりになる、

私、まどかって言います。
それじゃあ始めますね…

そういうとまどかは
僕に抱きつきキスをしてきた…



れるっ……♡ちゅっ♡
はあっ♡♡ちゅちゅうっ♡♡

濃厚なディープキス、

年下の女の子から与えられる暴力的で
魅惑的な快感に俺はすぐに
勃起させられてしまった

はあっ

ぬちゅ

ぢゅーぢゅー

ぬちゅ
ちゅっ♡

はあっ

ちゅろっ♡ ちゅっ、れるお♡
れるるうっ……♡ ちゅぽっ♡
はあっ♡ ちゅちゅうっ……

しばらく柔らかい女の子の唇を
味わっていると…
まどかはズボンとパンツを下ろし…



うわあ・・・お兄さんのおちんちん
ガチガチですわね・・・♡

小さな手で袋と根元の中までを
くりくりと刺激される。ひちゃ

ビュッ

ひちゃ

ビュッ

先走りが滲み出る尿道を
手の平で回すように擦っていく・・・♡



我慢汁が溢れていた亀頭が
更に膨れるようにビクツと
跳ねると……♡

しこしこしこ……♡

はあー……ああ……ああっ……♡
はあ……あ……♡

じゅわ

ビクッ

じゅわ

ビクッ

このままじゃまずい……もうっ……♡
止まらない竿へのシゴきに、
辜丸への愛撫。

あっ……出ちゃう……♡
あっ……♡

ふふ……それじゃあ……♡

じゅっ

ゴッ

じゅっ

ビュッ

では、おちんちんをしゃぶらせて
いただきますね。

パンパンに張り詰めた亀頭が
まどかの唇にぱっくりと収まる。

おっ
おっ

おっ

おっ
おっ

おっ

ぞくぞくとした快感で肉棒が
びくんと跳ね逃げようとするが
まどかは舌でそれを押さえつける。

丹念に亀頭を舐めしゃぶられ
絶頂へと導かれていく。

全神経が少女の口内だけに
集中していき、限界を訴えるように
チンポが舌上で震えた。

おっ
おっ

おっ

おっ
おっ

うあつ…♡出るっ！

れろ

んぷぐうつ♡ん、えれおっ♡
ん♡れおれる、ちゅじゅうつ…♡

びゅびゅびゅびゅびゅるるうっ…!!

三日間貯めた固形物に近い精液が
まどかの舌上へと叩きつけられた。
どくどくどくどくどくっ…♡

おっぴん

れろっ

おっぴん

どくどく

れろっ

鼓動のごとく震えた肉棒が
最高に気持ちいい瞬間を
何度となく繰り返す。

啜えたまま、まどかは吐精を受け入れ
続ける。

吐き出されていく苦味と生臭さを
伴った芳醇な精液をより味わおうと
吸引を強めていく。

おっぴん

れろっ

おっぴん

ぐんぐん

れろっ

ぢゅじちゆるうつつ……♡♡♡
んええれおるうつつ……♡

何度なく腰が震え…
まどかの口の中を白濁で
埋め尽くしていく。
窪んだ頬の中で強く吸われて
勢いよく出ていき、
そのぶん快感が増幅していく…

ぐんぐん

れろ

おっ
おっ

れろ

おっ
おっ

唇と舌にあやされ吸われて
舐められて、すがりつくように
最後の一滴まで出し切ったのだった。

.....ちゅぽんっ♡♡♡♡

.....あーん♡♡はあ、ふっ♡

まどかは唇を大きく開いて
情欲の証を見せた。

どれだけ出たものか桃色の口内が
白く染められており、涎と混ざっても
溶け切れない濃い塊が舌上に
乗っている。



ふふ…気持ちよかったですか…？
次は私のアソコに出してくださいね…

こく、くくっ♡ ん…♡

まどかは笑顔で精液の塊を
飲み下していく。
幸せそうに顔をとろめかせて
男の欲を味わっていく。

わたしのおっぱい…どうですか？
いっぱい触って、揉んで…
おちんちん勃起してくださいね♡

むにゅー♡

柔らかすぎて溶けそうな感触、
好き放題に形が変わるのに
張りもあって、揉んだぶんだけ
指を押し返してくる。
むにゅー♡

こんなに可愛い年下の女の子の
おっぱいを揉んでいるという事実、
俺はまた我慢汁を垂らし、勃起した……

あっ……♡
お尻に硬いのが……
ふふ……それじゃあ……
シマしようか……♡

むにむに♡♡

むにむに♡♡

おちゅん

／＼

んツ♡あっ♡

ツ~~~~あぁあッ♡

ちゅぶっ♡

にゅぷぷ…♡にゆるううっ♡

／＼

／＼

贅肉をかきわけてゆっくりと
ペニスがまどかの膣内に
挿入されていく。

おちゅん

お

お

お

おちゅん

んん

ぬるんっ、ぢゅぷんっ♡

ペニスが全て根本まで
埋まり柔らかな尻肉と
むっちりとした太腿が密着する。
亀頭から根本までを
熱い粘膜で包まれ
蜜液でトロトロになった
媚肉がぎゅうぎゅうと
締め付けてくる。

おちゅん

んん

んん

おちゅん

おちゅん

おちゅん

／＼

あっ♡ん♡っ♡ん♡っ、ああん♡

ぱちゅ♡ぱん♡ぱん♡

柔らかな尻肉が
打ち据えられるたびに
尻たぶが波打つ。
ペニスが抜けるギリギリまで
腰をあげたかと思えば根本まで
深々と啜えこむ。

おちゅん

／＼

／＼

おちゅん

おちゅん



おちゅん

／＼

俺はあまりの快感で頭が
スパークしそうになりながらも
意識を何とか手放さずに
その快感を味わっていた。

はあっ……！はっ、あっ、はあっ、
はあっ、はあっ、ひいっ……♡

／＼

／＼

おちゅん

おちゅん

おちゅん

おちゅん

ぽちゅん

／＼

ぬぢゅりっ♡ぬぢゅうっ♡
ぬぢゅっ♡ぬぢゅっ♡

腰の動きをピストンから前後に
揺するような動きへと。
口から涎や鼻水を垂らしながら
俺はガチガチと歯を震わせながら
耐える。

ぽちゅん

／＼

／＼

お

お

お

おっちゃん

／＼

しかし…

「あっ♡あっ♡あっ♡」と
聞こえてくるまどかの
甘ったるい声で
俺は限界を迎える…

うううう、で、でるううう…!!

おっちゃん

／＼

／＼

おっ

おっ

おっ

おちゅん

／＼

ドク
ドク...

ぶびゅっびゅるっ！
ぶびゅるるッッ！

イっくううううう...♡

中にザーメンでてるっ...
あっんっんっんっ...♡

人生最高の射精...
気持ちいい...♡

おちゅん

／＼

／＼

おちゅん
おちゅん

こんなにたくさん……
気持ちよかったです……♡
ありがとうございました……♡

ゴクゴク

グググググ

グググググ

ビクッ

ソウルジェムの汚れが溜まったら
またお願いしますね……♡

じゅじゅ

じゅじゅ

そしてまどかは帰っていた。

しばらくすると……

おつかれ様、その顔は満足してくれたようだね。

次はまた三日後にお問い合わせするよ。

俺は次の機会を心待ちにするのだった。





三日後

やつほー、まどかときゆうべえから
聞いてるよ、お兄さんが私たちの命の
恩人だって。



今日はよろしくお願いしますね、
お兄さん♡

可愛い…

健康的で活発そうな女の子だ。



私の名前はさやかっ
て言います。
んふふー♡

とりあえずキスでもする？

あーん……♡
ちゅっ、ちゅっ♡ちゅぷぷっ♡
ちゅろっ……♡

はあっ

ぬちゅ

ぬちゅ

ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

すあ

そう言うときさやかは強引にキスを
してきた。
甘い声を漏らし媚びたキスをしてくる
いやらしくも可愛い少女に
一瞬で惹かれてしまう

はあっ

んふふ…
おちんちんおつきくしちやつたね♡

おちんちん

おちんちん

おちんちん♡

はあっ

じゃあお兄さんのおちんちん
見ちゃおうかな♡

もうバツキバキ♡
さやかちゃんのキスでそんなに
興奮しちゃったから♡

ぐちゅっ……♡
ぐちゅぐちゅ……♡

うわぁ

アッ

ビュッ

うわぁ

竿をしつとりと包み込んだ
柔らかな手のひらが、
ゆっくりと上下に動き始める。

あたしのお手々気持ちいい？♡
シコ♡シコっ……♡

ひゅっ

どゅっ

頬を上気させ、品定めするように
目を細めたさやかが、
ニマニマと笑いながらチンポを
手で扱ってくる。

にちゅっ……♡くちゅっ……♡
ぬちゅっ……♡

手はゆっくりと上下に動き。
ひとコキごとに
甘い甘い快楽を刻み込んでいく。
どっ

っ……♡さやかちゃん……うっ……♡
もう出ちやいそう……♡

もうイきそう？もう出ちやう？

くちゅっ♡ぐちゅぐちゅ……♡♡
じゅっ
どっ



んっ♡じゅっぽっ♡♡♡じゅぶっ♡♡♡
じゅぶ、っぢゅじゅっ♡♡♡じゅぽっ♡♡♡

うおお、はあっ……♡

射精寸前のチンポをさやかちゃんがお口でいじめてくる……♡

おっぴん

れろっ

おっぴん

れろっ

唇が先端から幹の中ほどまでを
擦り上げ……

ちゅっぽんちゅぽんと抽挿の度に

空気と粘液が混ざる

エロい音が鳴り響く。

気持ちよさそう……♡
んっぶっ♡んぶっ♡
ん、じゅっぽっ……♡

そうしてさやかが一瞬だけ息を整える
と深く啜えてむしやぶりつくように
吸いついてきた。

れろっ

れろっ

おっ
っ
っ

おっ
っ
ん

おおおうっ……!!

ん、じゅっ♡ じゅじゅっ♡ じゅちゅるっ♡

でるでるでるっ……♡

れろっ

おっ

おっ

れろっ

いいよ♡出して……♡
わたしのおくちのなかに……♡

どぷっ♡びゅくくっ!♡♡
びゅびゅるうううっ!♡♡♡
出している最中も吸引は止まらずに
その分だけ射精の
速度が増していく感覚。

どくどく
れろ

れろっ

おっ
おん

お
お

吸いながらも顔を
軽く前後させて唇で
じゅぽじゅぽと扱いてくれる。

……じゅぶぶつつつつぽ♡♡♡
……あゝんっ♡

唇が先端から抜かれる。
さやかなの口腔は固形物のような
淫靡なもので溢れかえっていた。



えへへ…いっぱい出したね、
気持ちよかった…？

見せつけられた精液を舌で
ぐちゅぐちゅと弄び…

ごくごくつつ♡はあく♡

えへへ…いっぱい出したね、
気持ちよかった…？
見せつけ、精液を舌で
ぐちゅぐちゅと弄び…

ごくごくつつ♡はあく♡

美味そうに飲み干した。

おちんちんが勃起するまで、
美少女さやかちゃんのおっぱいを
堪能してくださいね♡

むいせいの♡

むいせいの♡

あ♡気持ちいい♡
お兄さんおっぱい揉むの上手ですね♡



もにゅっ……♡♡♡♡

あああ……おっぱい柔らかすぎっ♡
さやかちゃん♡

ぐにゅにゅにゅ……♡♡♡♡

ふーっ

もう夢中になりすぎ♡

お尻に当たってる硬いの
バレてますよ♡

早く私の中に入れてくださいよ♡

むっせ♡♡♡

むっせ♡

我

あゝゝゝ



ゴ

これやばい



おし

[illegible]

あたしのまんこ抉られてるっ♡♡♡

$$\frac{10}{7}$$

しちや

ヒ

天

どちゅっ♡♡どっちゅん!!

 **♡**

気持ちいい♡気持ちいい♡



ひ
い
い
い
♡

お

お

お

お

お

腔内の媚肉をゴリゴリと削り、
その粒とヒダの感触をカリ首で
味わうのが堪らない。

ビクッ

しゅ

亀頭から腰ぐう腰から背中へ、
背中から脳へと快感が走り抜け、
全身がブルブルと震える。

う

俺も気持ちいいよ、
最高だよさやかちゃん…♡

しゅ

お

お

お

お

お

ガチガチに固く隆起したカリ首の
段差が天井を引っ掻き、
愛液を掻き出して媚肉を削る。

ビクッ

お

お

お

フーツ！フーツ！！

気持ちいい、気持ちいい、気持ちいい♡

お

お

お

お

お

射精して♡♡♡
全部中に♡絶対外に射精出さないで♡

ビクッ

ッ

しゅ

イクイクイク♡♡♡

ドクッ
ドクッ

う

ッ

びゅうっ♡
びゅうっ♡
びゅうっ♡





すごい……♡♡♡
こんなにいっぱい出してくれて
ありがとう♡

ねえ、またここに来てもいいよね？♡

うふふ……ありがとう♡

そしてさやかちゃんは帰って行った。



お疲れ様、若い女の子との交尾は
最高だろう？

うんうん、満足してくれて嬉しいよ。

じゃあまた三日月に女の子を
連れてくるからよろしく頼むよ。

俺はその日が来るのを
楽しみにするのだった。











































